

たすけあい、 支えあうまち 鶴見

〈居場所〉〈きっかけ〉〈健康〉づくり… 生活支援コーディネーターと相談だ!

人のネットワークを生かした「たすけあい・支えあい」で、暮らしやすい鶴見を目指す。地域の人たちと地域ケアプラザの生活支援コーディネーターが、日常生活の困り事が目立ってくる高齢者を見守り、支えあう取組みを紹介します。

職員の行事参加・外出と情報発信 ● 生麦地域ケアプラザ

全員がコーディネーター、 「顔の見える」関係づくり



▲地域での交流の様子
(12月4日、東部元宮町会のおもちゃつき)

▲職員全員でコーディネーターの役割を果たします!

職員が祭りなどを手伝って、高齢化と担い手不足を抱える地域の支えになれば… 谷垂由美所長以下、ケアプラザの職員全員がこうした思いで積極的にまちに出て行き、「顔の見える」関係づくりを進めています。外に出て行くことは伝統行事やまちの歴史を知ることにもなり、地域の人同士の見守り・支えあいにつながるヒントも得られるといいます。

「職員の顔と名前を覚えてもらえば、まちで出会ったときの雑談から地域のニーズをつかむことができ、ケアプラザに来たときでも気軽に相談できるようになります」と谷所長。編集発行している広報誌『麦の風』に行事情報を載せ、地域の人たちへも参加を呼びかけています。

仲間同士が気軽に集える場をつくる ● 矢向地域ケアプラザ

シニアの元気を 町の元気に!



▲矢向地域ケアプラザのスタッフ。左から3人目が遠藤さん

▲シニアクラブの役員が集まる場で

人情味があり、ご近所同士の見守りや支え合いが自然に行われているのが矢向・江ヶ崎町の良いところ。この町の風土を作ってきたみなさんの元気が10年後、20年後も変わらない町の元気につながると、生活支援コーディネーターの遠藤知美さんは、ケアプラザの他の職種とも連携し、取組みを進めています。

その取組みのひとつとして、エリア内の7つのシニアクラブが、担い手の高齢化などの課題を乗り越え、活動を活性化させていけるよう、ケアプラザを会場とした居場所、たまり場づくりを提案しています。さまざまな世代の人が利用するケアプラザを会場とすることで、シニアクラブの魅力をPRできると考えています。

市場西中町たちばなクラブの健康づくり ● 鶴見市場地域ケアプラザ

高齢者の外出と 介護予防につなげる



▲たちばなクラブの皆さんと加藤さん(後列右端)

▲ペットボトルを布でくるんだ運動具やボールを使って体を動かします

生活支援コーディネーターの加藤賢次さんが、市場西中町たちばなクラブの鹿島英夫会長に「クラブが率先して健康づくりに取り組んで、地域の健康長寿を目指しては」と提案。尻手地区で行われているハッピー体操を見学して、気軽にできて続けられそうと準備を始め、11月から町内会館を会場に実施(当面は月1回)しています。

「普段体を動かすことのない人、外出の機会の少ない人に来てもらえれば」と鹿島会長。体操をしてお茶を飲んで、また来ようと思える雰囲気をつくり、クラブへ行くのが楽しい、と感じてもらえる集まりを目指し、ほかのクラブにも奨めていけたら、と加藤さんは言います。

「福祉よこはま」で紹介されました

● 東台自治会と寺尾地域ケアプラザ

坂のあるまちで野菜・パンを出張販売

東寺尾東台では、自治会が行った住民向けの買い物アンケートで「野菜や米が身近で買えるといい」との回答が多かったことから、自治会長とケアプラザ、区社協のコーディネーターが相談し、野菜販売、パンの販売を行っている作業所にそれぞれ協力を依頼。元民生委員の自宅(書道教室)を販売場所としてお借りし、昨年7月に出張販売(現在は月2回)が始まりました。

→詳しくは市社協発行『福祉よこはま』182号に紹介されています

▶野菜の出張販売



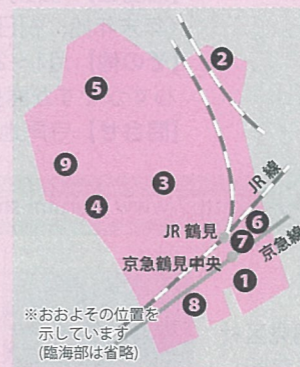
撮影: 樋口政治http://higuchi-photo.com/

「まちの人の力」を生かして、 課題の解決につなげる 生活支援コーディネーター

28年4月から始まった横浜市生活支援体制整備事業により、地域ケアプラザ、鶴見区社協に生活支援コーディネーターが配置されました。コーディネーターは、まちのさまざまな人の力を生かした地域課題の解決に向けて人と人をつなげ、ネットワークによる活動が続いていくための支援を行います。

さまざまな人が出入りする 支えあいのきっかけがうまれる 相談はお近くの地域ケアプラザへ

月～土曜日9時～21時(日祝は17時)、
12月29日～1月3日は休館



※おおよその位置を示しています(臨海部は省略)

- ① 潮田地域ケアプラザ TEL 507-2929
- ② 矢向地域ケアプラザ TEL 573-0020
- ③ 寺尾地域ケアプラザ TEL 585-5566
- ④ 東寺尾地域ケアプラザ TEL 584-0129
- ⑤ 駒岡地域ケアプラザ TEL 570-6601
- ⑥ 鶴見市場地域ケアプラザ TEL 504-1077
- ⑦ 鶴見中央地域ケアプラザ TEL 508-7800
- ⑧ 生麦地域ケアプラザ TEL 510-3411
- ⑨ 馬場地域ケアプラザ TEL 576-4231

善意銀行 暮らしに、まちに、あなたのお金が生きている

28年9月1日～12月31日
()内は期間内の寄付回数

金銭寄付者(敬称略・順不同) ● 東寺尾商品開発部 ● 鶴見区仏教婦人会 ● 岩澤多鶴子 ● 大橋洋子 ● 滝口房枝 ● ハーモニー音楽教室・愛する会一同 ● おっさんネットワーク ● 吉兆グループ(4) ● 小野輝子 ● 内田八江子 ● NPO法人鶴見区民地域活動協会末吉地区センター ● 公益社団法人神奈川県宅地建物取引業協会横浜鶴見支部 ● 鶴見中央地域ケアプラザ ● 神保修治 ● クオリティス自治会 ● 栄町3・4丁目町内会 ● NPO法人鶴見区民地域活動協会 ● 生麦地域ケアプラザ ● 前川和彦(4) ● 神奈川土建一般労働組合横浜鶴見支部 ● 安部ヒロエ ● オール市場地区社会福祉協議会自治連合会 ● 上末吉地区社会福祉協議会 ● 吉澤真一 ● 佐々木悦子 ● 佐々木淳 ● 公益社団法人鶴見法人会厚生委員会 ● 片田由美子 ● 鶴見ふれあいまつり実行委員会 ● 横浜鶴見西ライオンズクラブ ● 旭硝子労働組合京浜支部 ● 大本山總持寺三松会 ● 匿名(11) ● 鶴見区自治連合会 ● 旭硝子労働組合本部 ● イトーヨーカドー鶴見店

寄付の方法

- ① 区社協窓口への持参 (月～土 9:00～17:00)
- ② 銀行振込
- ★ 物品寄付についてもご相談ください。

振込先

横浜信用金庫
鶴見駅東口支店 普通042900
社会福祉法人
横浜市鶴見区社会福祉協議会
善意銀行 伊藤学(イトウ マナブ)

● 「福祉つるみ」の発行費は、共同募金配分金を活用しています。 ● 「福祉つるみ」では広告を募集しております。 ● 一部地域では、障害者地域作業所が配布しています。 ● 次号(第84号)は平成29年6月1日発行です。

ボランティア募集 & イベント情報

子どもがひきこもりになりかけたら ～次の一歩のためにできること～

【内容】 子どもや若者を取り巻く社会が大きく変化している中、環境の変化でつまずき、ひきこもり状態になってしまう若者が増えています。今回のトークセッションでは、ご本人や家族に対する社会や地域のサポートの重要性、また取り組みの事例をご紹介します。問題解決につながる具体的な行動などについてお話しします。子育て中の保護者の方はもちろん、支援現場で若者に関わっている方にも「関わり方」の参考となるメッセージが満載です。皆さまのご参加をお待ちしております。

【日時】 2月11日(土) 13:30~15:30

【場所】 鶴見中央コミュニティハウス
レクリエーションホール

【申込方法】 電話もしくはメールで、参加希望の方の氏名(フリガナ)・電話番号・メールアドレスを、以下、連絡先まで

【連絡先】 よこはま東部ユースプラザ 〒230-0051 鶴見区鶴見中央3-23-8 ☎ 642-7001 ☎ 642-7003

Eメール Mailypt@sodateage.net

第13回「鶴見・あいねっと」推進フォーラム

【日時】 3月4日(土)13:30~16:00(13:00開場)

【場所】 鶴見公会堂(豊岡町2-1フーガI)

【テーマ】 さあ始めよう! みんなが健やかハツラツつるみ!!
～今こそつながれ、つるみパワー～

【内容】 第1部 社会福祉功労者感謝会
第2部 地域活動に関する事例発表 イベント 潮風(うすかじ)のエイサー演奏



その他
・健康チェックコーナー
・ボランティア活動紹介
・「鶴っこ」(障害児者施設などの手作り製品)展示
・鶴見区制90周年記念展示

～体験してみませんか～ かんたんな手話と手話コーラス

【日時】 3月2日~3月23日 毎週木曜全4回 10:30~12:00
※初回のみ10:00受付開始

【場所】 鶴見中央地域ケアプラザ 地域ケアルーム

【定員】 10名

【参加費】 500円

【申込・連絡先】 フレンドの会鈴木あてに電話

☎ 090-7417-9631

「キッチンてらお」配達ボランティア募集

地域の高齢の方に手作りのお弁当をお届けするドライバーと配達スタッフを募集しています。

【内容】 ドライバーは自家用車で配達ルートを回り、同乗する配達スタッフが利用者宅にお弁当を届けます。

【活動日】 毎週水曜日15:30頃~17:15頃

(年末年始、祝日は休み)

【その他】 月1~2回の参加も歓迎。

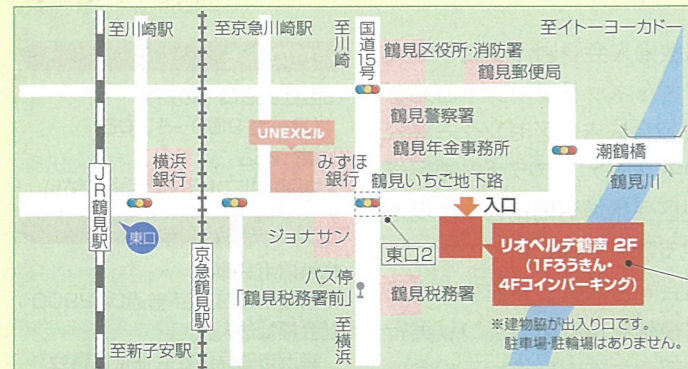
わずかですが謝金をお支払いします。

【問合せ】 寺尾地区センター ☎ 584-2581

鶴見区社協より <http://www.yturumi-shakyo.jp/>

広々・明るい、福祉保健活動拠点です

昨年11月28日、鶴見区福祉保健活動拠点ならびに鶴見区社会福祉協議会は、鶴見川と潮鶴橋の近くにあるビルに移転しました。広々とした団体交流スペースや多目的研修室、相談カウンターになりました。多くの方たちに利用していただくと嬉しいです。



「表紙クイズ」& 愛読者アンケート

QUO
カード
プレゼント!



団体交流スペース



相談カウンター



多目的研修室



表紙の写真を見てピンときた方、ご応募ください。応募は、はがき・FAX・Eメールで、①表紙のクイズの回答②郵便番号・住所・氏名・電話・性別・年齢③福祉つるみを手に入れた場所④ご意見・ご感想を記入の上、2月28日(必着)までに鶴見区社協「アンケート係」へ。

当選は賞品の発送をもって代えさせていただきます。前号の正解は③馬場地域ケアプラザ、応募者数は32名でした。区社協ホームページにクイズのヒントがあります。ぜひアクセスを。

※「表紙クイズ」応募に関わる個人情報、当選者への賞品発送と「福祉つるみ」紙面作成の参考にのみ利用いたします。

鶴見区社会福祉協議会

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央4-37-37 リオベルデ鶴声(かくせい)ビル2階
☎ 504-5619 ☎ 504-5616 Eメール:info@yturumi-shakyo.jp

編集委員/河西英彦・中村啓子・蔵本美佐子・谷亜由美・佐藤智宏

福祉

つるみ

83
点字・録音版も!

【第83号】2017年2月1日発行/編集・発行◇社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会 TEL.045-504-5619 FAX.045-504-5616

特集 きょうもあしたも

人と人、 地域でつながる。 支えあう

表紙
クイズ

ここは鶴見のどこの空? 応募方法はウラ表紙をご覧ください

丘の上にあります。
①馬場地域ケアプラザ ②駒岡地域ケアプラザ ③寺尾地域ケアプラザ

撮影者:武藤伯晃(2016年3月1日)